

令和6年度行政評価 施策評価シート (令和5年度実績)

施策名 安全で適切な廃棄物処理の推進

施策コード

5050301

1. 施策の担当	
主管課	生活産業部 環境衛生課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第5章 安全でひとと環境にやさしいまちづくり (安全・防災・環境)	節 第3節 廃棄物処理
	施策	安全で適切な廃棄物処理の推進	

基本方針
 ・泉佐野市田尻町清掃施設組合などの関係機関と連携し、ごみ焼却施設及びし尿処理施設の整備を図るとともに、ごみの排出量増加の抑制、より安全で適切な廃棄物処理を推進します。

現況と課題
 ・廃棄物の収集運搬、中間処理や最終処分について、環境への負荷を低減しながら、適正且つ安定的に行うことが求められています。また、新たな廃棄物中間処理施設建設計画を推進しつつ、新施設完成までの間、老朽化が進んでいる現在の廃棄物中間処理施設の維持、整備を図る必要があります。

施策目標
 対象 (誰を、何を、どこを)
 市民及び事業所

意図 (どのような状態にしたいのか)
 ごみやし尿の適正処理を通して、安全で快適な生活環境の実現を目指します。

3. 市民ニーズ							
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
満足度 (偏差値)	65.3						
重要度 (偏差値)	61.1						

4. 施策にかかるコスト								
	単位	R4決算	R5決算					
コストの内訳	人件費	千円	0	0				
	事業費		0	0				
	フルコスト		0	0				
財源内訳	国庫支出金	千円						
	府支出金							
	市債							
	その他							
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		0	0				
一般財源2 (=直接事業費-特定財源)	0	0						

5. 施策の重要業績成果指標 (KPI)							
① KPI 1	1日当たりのごみの排出量						
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	121.4	120.4	127.4	126.6	125.7	124.9	124.0
実績値	129.3	127.5	125.3				
達成度	93.9	94.4	101.7				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
ごみの排出量を把握することで、ごみの減量化や、ごみ処理施設の方向性がわかります。ごみ量はHP公開数値を使用。		「一般廃棄物 (ごみ) 処理基本計画 (平成17年11月)」の各年度のごみ排出量を基本に平成19年度の実績比率を乗じて算出。平成26年度から平成30年度は「一般廃棄物 (ごみ) 処理基本計画 (平成26年3月)」の数値で算出。令和元年度以降は「一般廃棄物 (ごみ) 処理基本計画 (平成30年3月)」の数値で算出。			家庭ごみについては、市民の分別収集やリサイクルに対する理解が進み、ご協力を得られている。新たに本人確認を実施したことにより、事業系ごみの直接搬入量が減少に転じており、達成率は上昇している。		

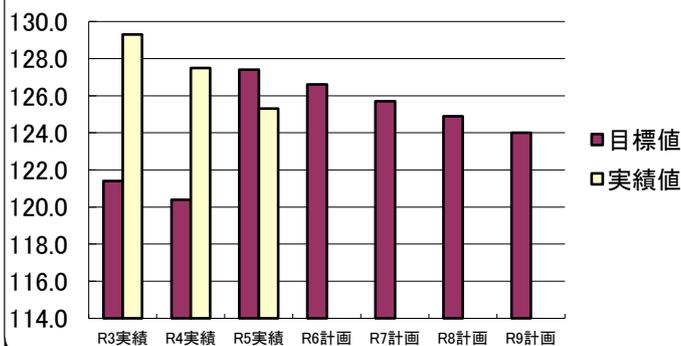
② KPI 2		市民 1 人一日当たりのごみの排出量					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	1,220.6	1,214.6	1,290.7	1,278.1	1,266.3	1,254.6	1,243.0
実績値	1,302.1	1,292.0	1,264.3				
達成度	93.7	94.0	102.1				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市民 1 人あたりのごみ排出量を把握することで、より詳細にごみの減量化等の実態がわかります。ごみ量はHP公開数値を、人口は当該年度4月1日の人口を使用。		指標「ごみの排出量（t/日）」を、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（平成 17 年 1 月）に設定の人口で除した数値を目標に設定。平成 26 年度から平成 30 年度は「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（平成 26 年 3 月）」の数値で算出。令和元年度以降は「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（平成 30 年 3 月）」の数値で算出。		家庭ごみについては、市民の分別収集やリサイクルに対する理解が進み、ご協力を得られている。新たに本人確認を実施したことにより、事業系ごみの直接搬入量が減少に転じており、達成率は上昇している。			

③ KPI 3							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			

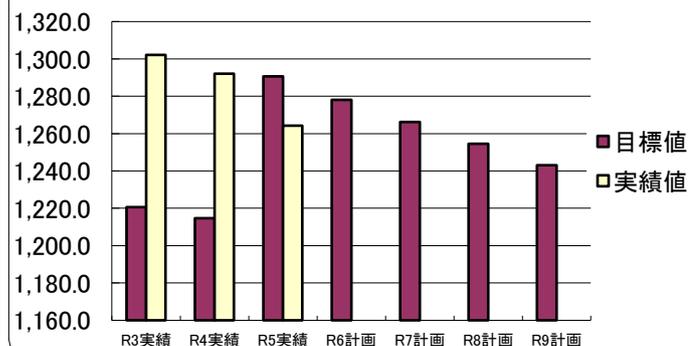
④ KPI 4							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			

⑤ KPI 5							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			

KPI①

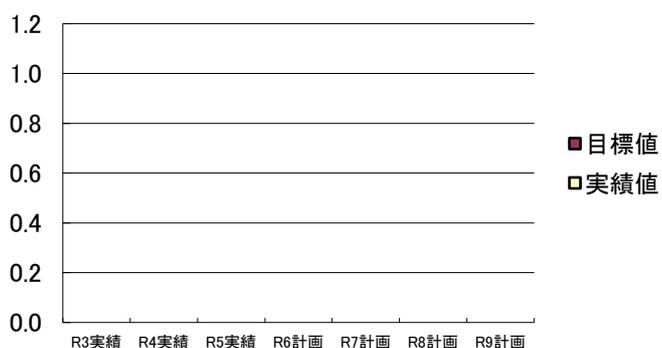


KPI②

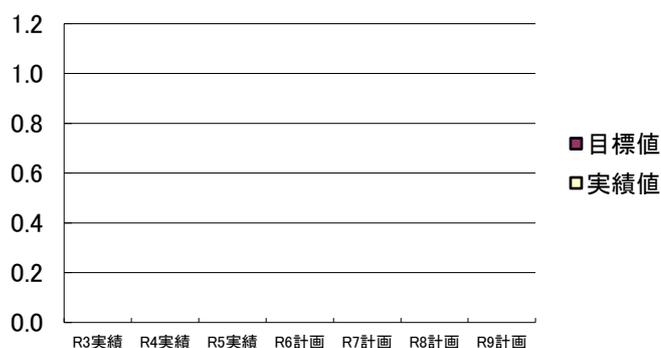


図表

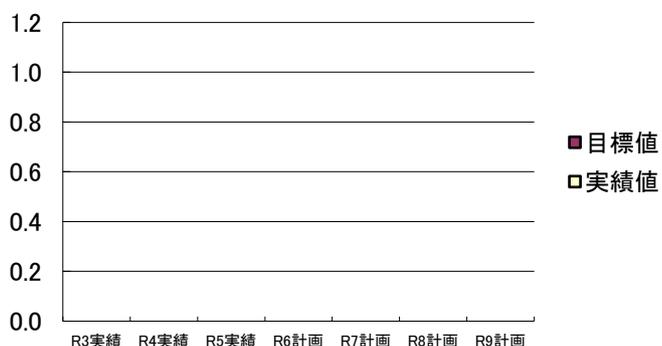
KPI③



KPI④



KPI⑤



6. 施策の事後評価

判定項目		評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	平成18年度からごみ袋の有料化、平成20年度から容器包装プラスチックの再資源化を実施した。近隣の市町でも有料化等が進んでいる。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 3	市民アンケートより、重要度が高いことから、ニーズが高い施策である。容器包装プラスチック類の出し方については複雑な部分もあるため、依然問合せが寄せられている。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	廃棄物処理を取り巻く状況は、減量化・リサイクルを優先するシステムへ、循環型社会への転換を求められており、「循環型社会形成推進基本法」をはじめとする各種リサイクル法の制定・整備が行われている。
	合計点	(10点中) 10点	
	総合評価	A	引き続き適切な再資源化に努める
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		B	H30市民アンケートと比べ重要度+7.3満足度-0.4となっており、市民意識の向上が図られている。継続的に努められたい。
三次評価 (理事者による評価) ※二次評価と異なる場合など記載		B	

7. 施策を構成する事務事業

	事務事業	R5年度決算額			R6年度予算	一次評価
		人件費	事業費	一般財源		
1	01030700 ごみ収集事業					B
合計		0	0	0	0	

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード	040303010	予算コード	01030700	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	ごみ収集事業	正規職員数	4.27	国庫支出金	0	有効性	B	家庭ごみ収集についてはすべて民間委託化済。公共施設のごみ収集も許可業者の収集へ移行済み。	
担当課	環境衛生課	嘱託職員数	1.5	府支出金	172				
根拠法令等	法定受託以外の法令	臨時職員数	0	市債	0	効率性	B		
	■法律・政令・省令 ■条例・規則	歳出(千円)		その他	190,037	妥当性	B		
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律。泉佐野市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例。泉佐野市一般廃棄物再生利用業の指定に関する規則	人件費総額	40,386	一般財源	835,985	受益者負担	B		
		減価償却費		事業費	985,808				
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)	1,026,194	緊急性	C	事務事業実施内容			
実施手法	一部委託	市民1人当りコスト(円)	10,357			例年どおり。			
対象		活動指標	R5実績	公的関与	A				
不特定の市民	対象数	49,678世帯(令和5)	可燃・資源ごみ委託収集世帯数	49,637.0					
市内全世帯を対象としている			粗大ごみ委託収集世帯数	49,855.0	実施主体・委託化	B			
事業の内容			ふれあい収集作業	436.0					
一般廃棄物の収集運搬、処分及び再資源化にかかる事務。 企画・調整、各種許可、業務委託にかかる事務。 ごみ処理手数料にかかる事務。 公共施設から発生する廃棄物のリサイクル業務 ふれあい収集業務			生ごみ処理機購入助成金申請件数	38.0	他の事務事業との関連	B			
			公共施設ごみ年間収集回数	0.0					
			成果指標	R5実績	透明性	B			
			可燃・資源委託率	99.6					
			粗大ごみ収集件数	7,588.0	財政健全化計画	該当なし			
			指定袋・粗大ごみ処理券販売金額	82,772.8	財政健全化の取組	該当なし			
			生ごみ処理機購入助成金交付金額	750.0					
			コスト指標	R5実績	改革改善プラン達成度	該当なし			
			可燃・資源ごみの1回当たりの収集単価	76.4					
	事業の目的			粗大ごみ1件当たりの経費	8,840.3				
廃棄物の発生を抑制し、再利用を促進するとともに廃棄物を適正に処理し、並びに生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的とする。			指定袋・ごみ処理券1店舗当たりの売上金額	752.5					
			生ごみ処理機購入助成金1台当たりの助成額	18,750.0					